

裁判官会議（第34回）議事録

平成25年12月11日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 竹崎長官、櫻井、金築、千葉、横田、白木、岡部、大谷、寺田、大橋、
山浦、小貫、鬼丸、木内、山本各裁判官

竹崎長官議長席に着く。

議事

1 平成25年度裁判所所管補正予算（第1号）について

垣内経理局長から、別紙第1に基づき、標記の補正予算について説明があり、
原案どおり予算を要求することを決定し、今後の同補正予算の折衝を最高裁判所
長官に一任することについて諮り、これを了承した。

2 下級裁判所裁判官指名諮問委員会の答申について

中村総務局長から、別紙第2に基づき、標記の答申について報告があった。

3 人事について

- (1) 安浪人事局長から、別紙第3に基づき、人事関係事項について説明があり、
1の裁判官の退官については、報告及び原案どおり決定し、2の裁判官の新規
任命及び3の裁判官の転補等については、いずれも原案どおり決定した。

大谷裁判官退席

- (2) 安浪人事局長から、別紙第3に基づき、人事関係事項について説明があり、
4の裁判官の採否については、石上興一及び津田裕を採用することに内定し、
[]を別紙第4に記載の理由で不採用とすることを決定した。

- (3) 安浪人事局長から、別紙第5に基づき、鳥取地方、家庭裁判所長の補職等
について説明があり、次のとおり決定した。

ア 鳥取地方、家庭裁判所長橋本良成の定年退官に伴い、さいたま地方、家庭
裁判所判事井口修を鳥取地方、家庭裁判所長に補する。

イ 大阪高等裁判所判事前坂光雄の定年退官に伴い、大津地方、家庭裁判所長
森宏司を大阪高等裁判所判事（部の事務総括者）に補し、その後任者を東京
地方裁判所判事川神裕とする。

午前11時35分散会

議長

竹崎 隆 允 

秘書課長

堀田 真 哉 

裁判官会議付議人事関係事項 (平成25. 12. 11提出)

1 裁判官の退官について

定年退官 (平26. 1. 11)

名古屋高判事 (部総括)

渡辺修明(26)

依願免本官 (平26. 1. 15)

大阪高判事

辻本利雄(30)

定年退官 (平26. 1. 15)

札幌簡裁判事 (司掌者)

島田紘

依願免本官 (平26. 1. 15)

名古屋簡裁判事

浅野力

2 裁判官の新規任命について

一宮簡裁判事

片山俊雄

四日市簡裁判事

西尾進

3 裁判官の転補等について

司研教官

東京地判事・東京簡裁判事

島田英一郎(52)

名古屋高判事 (部総括)

広島高判事 (部総括)

筏津順子(30)

広島高判事 (部総括)

大阪家判事 (部総括)

川谷道郎(30)

大阪家判事 (部総括) ・大阪簡裁判事

神戸家判事 (部総括) ・神戸簡裁判事

播磨俊和(31)

神戸家判事（部総括）・神戸簡裁判事

福岡家地判事（部総括）・福岡簡裁判事

長崎地家判事（部総括）・長崎簡裁判事

名古屋高判事（部総括）

仙台高判事（部総括）

法務省民事局付

名古屋簡裁判事

札幌簡裁司掌者指名

大阪高判事・大阪簡裁判事

牧 真千子(39)

長崎地家判事（部総括）・長崎簡裁判事

重 富 朗(38)

東京高判事・東京簡裁判事

宮 本 聡(49)

仙台高判事（部総括）

木 下 秀 樹(30)

東京高判事

中 山 顕 裕(33)

さいたま地家判事補・さいたま簡裁判事

山 崎 雄 大(60)

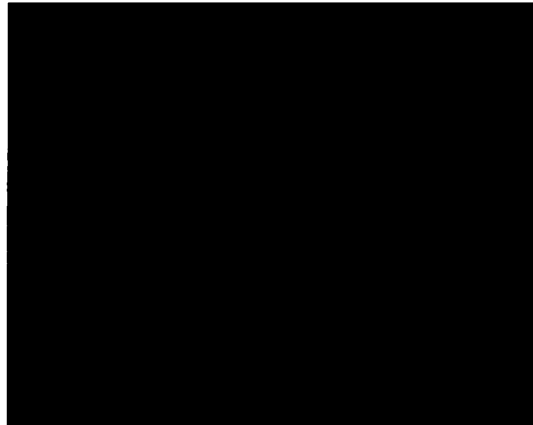
一宮簡裁判事

飯 田 篤 治

札幌簡裁判事・夕張簡裁判事

長 原 豊

4 裁判官の採否について



裁判官会議（第35回）議事録

平成25年12月18日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 竹崎長官、櫻井、金築、千葉、横田、白木、岡部、大谷、寺田、大橋、山浦、小貫、鬼丸、木内、山本各裁判官
竹崎長官議長席に着く。

議事

- 1 平成26年度における最高裁判所の各小法廷の裁判官の配置、代理順序及び裁判事務の分配等について
中村総務局長から、別紙第1に基づき、標記の裁判官の配置、代理順序及び裁判事務の分配等について説明があり、原案どおり決定した。
- 2 平成26年度における司法行政事務に関する最高裁判所長官の代理順序について
堀田秘書課長から、別紙第2に基づき、標記の代理順序について説明があり、原案どおり決定した。
- 3 平成26年度の夏期の休延期間における司法行政事務の取扱いについて
堀田秘書課長から、別紙第3に基づき、標記の取扱いについて説明があり、原案どおり決定した。
- 4 常置委員について
堀田秘書課長から、別紙第4に基づき、平成26年1月1日から同年2月28日までの常置委員について説明があり、原案どおり決定した。
- 5 平成26年度における最高裁判所判事の出張計画について
堀田秘書課長から、別紙第5に基づき、標記の出張計画について説明があり、原案どおり決定した。
- 6 日本司法支援センターの中期目標終了時における組織・業務全般の見直しについて
中村総務局長から、別紙第6に基づき、標記の見直しについて説明があり、法務大臣からの同見直しについての求意見に対し、最高裁判所として意見がない旨回答することを決定した。
- 7 平成26年度裁判所所管予算について
垣内経理局長から、別紙第7に基づき、標記の予算の折衝状況について報告があり、この予算に関する今後の対応を最高裁判所長官に一任することについて諮り、これを了承した。
- 8 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律による審判の手続等に関する規則の一部を改正する規則について
今崎刑事局長から、別紙第8に基づき、標記の規則について説明があり、原案

どおり決定した。

9 人事について

(1) 安浪人事局長から、別紙第9に基づき、人事関係事項について説明があり、1の裁判官の転補等、2の裁判官の兼官、3の部の事務総括者の指名、4の判事補の職権の特例指名及び5の裁判官の昇給については、いずれも原案どおり決定し、6の平成24年度11月期（第66期）司法修習生考試の結果については、報告がされ、7の平成24年度11月期（第66期）司法修習生の修習終了については、原案どおり決定した。

(2) 安浪人事局長から、別紙第10に基づき、奈良地方、家庭裁判所長の補職等について説明があり、次のとおり決定した。

奈良地方、家庭裁判所長上田昭典の定年退官に伴い、大阪地方裁判所判事中山博之を奈良地方、家庭裁判所長に補する。

午前11時40分終了

議長

竹崎博元

秘書課長

堀田真哉

裁判官会議付議人事関係事項 (平成25.12.18提出)

1 裁判官の転補等について

東京地判事 (部総括) ・東京簡裁判

事

さいたま地部総括指名

東京高判事・東京簡裁判事

松村 徹(41)

さいたま地家判事・さいたま簡裁判

事

栗原正史(43)

2 裁判官の兼官について

別添「兼簡易裁判所判事任命名簿 (新63期)」のとおり

3 部の事務総括者の指名について

別添「平成26年度部の事務を総括する裁判官名簿」のとおり

4 判事補の職権の特例指名について

別添「5年判事補の職権特例指名名簿 (新61期)」のとおり

5 裁判官の昇給について

別添「平成26年1月1日付け裁判官昇給候補者名簿」のとおり

6 平成24年度11月期 (第66期) 司法修習生考試の結果について (報告)

合格 (別添「平成24年度11月期 (第66期) 司法修習生考試合格者名簿」のとおり)

不合格 (別添「平成24年度11月期 (第66期) 司法修習生考試不合格者名簿」のとおり)

7 平成24年度11月期（第66期）司法修習生の修習終了について

修習終了（別添「平成24年度11月期（第66期）司法修習生考試合格者名簿」登
載の者）

裁判官会議（第36回）議事録

平成25年12月25日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 竹崎長官、金築、千葉、横田、白木、岡部、大谷、寺田、大橋、山浦、小貫、鬼丸、木内、山本各裁判官

竹崎長官議長席に着く。

議事

1 平成26年度裁判所所管予算について

垣内経理局長から、別紙第1に基づき、標記の予算の概要について報告があった。

2 消費者の財産的被害の集団的な回復のための民事の裁判手続の特例に関する法律について

永野民事局長から、別紙第2に基づき、標記の法律について報告があった。

3 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律の一部を改正する法律について

永野行政局長から、別紙第3に基づき、標記の法律について報告があった。

4 下級裁判所裁判官指名諮問委員会の答申について

中村総務局長から、別紙第4に基づき、標記の答申について報告があった。

5 人事について

安浪人事局長から、別紙第5に基づき、人事関係事項について説明があり、1の裁判官の退官については、報告及び原案どおり決定し、2の新任判事補の採否については、別紙第6に掲載の者を採用し、[REDACTED]を別紙第7に記載の理由で不採用と決定し、3の裁判官の転補等、4の司法研修所教官の解嘱及び5の司法修習生の再採用については、いずれも原案どおり決定した。

午前11時48分終了

議長

竹崎 博 允 

秘書課長

堀田 真 哉 

裁判官会議付議人事関係事項 (平成25. 12. 25提出)

1 裁判官の退官について

定年退官 (平26. 1. 24)

千葉家判事 (部総括) ・千葉簡裁判事

原 啓(30)

定年退官 (平26. 2. 9)

奈良家地判事・奈良簡裁判事

鳥羽 耕一(31)

依願免本官並びに兼官 (平26. 1. 31)

名古屋地判事 (部総括) ・名古屋簡裁判事

天野 登喜治(32)

依願免本官並びに兼官 (平26. 2. 5)

徳島家地判事・徳島簡裁判事

太田 善康(31)

依願免本官並びに兼官 (平26. 1. 31)

前橋家地高崎支判事補・高崎簡裁判事

田中 篤子(58)

定年退官 (平26. 2. 10)

小倉簡裁判事

石井 宏治

2 新任判事補の採否について

採用

別添「判事補任命名簿」のとおり

不採用

3 裁判官の転補等について

東京高判事

法務省民事局民事第二課長

江原 健志(43)

奈良家地判事

大阪高判事

西垣 昭利(28)

大阪地判事（部総括）・大阪簡裁判
事

名古屋地判事（部総括）・名古屋簡
裁判事

名古屋高判事・名古屋簡裁判事

法務省民事局商事課長

福島地家郡山支判事（支部長）・郡
山簡裁判事（司掌者）

大阪高判事・大阪簡裁判事

芦 高 源(40)

名古屋高判事・名古屋簡裁判事

山 田 耕 司(42)

東京地判事・東京簡裁判事

肥 田 薫(53)

福島地家郡山支判事（支部長）・郡
山簡裁判事（司掌者）

野 口 宣 大(46)

司研教官（東京地判事・東京簡裁判
事）

上 拂 大 作(49)

4 司法研修所教官の解嘱について
別添「司法研修所教官名簿」のとおり

5 司法修習生の再採用について
採用

